

めぐみイエス・キリスト教会

2018年7月15日(日)第三主日礼拝
週報「通算第414号」



2018年標題聖句 使徒の働き27章22節～26節

27:22 「しかし、今、お勧めします。元気を出しなさい。あなたがたのうち、いのちを失う者はひとりもありません。失われるのは船だけです。

27:23 昨夜、私の主で、私の仕えている神の御使いが、私の前に立つて、

27:24 こう言いました。『恐れてはいけません。パウロ。あなたは必ずカイザルの前に立ちます。そして、神はあなたと同船している人々をみな、あなたにお与えになったのです。』

27:25 ですから、皆さん。元気を出しなさい。すべて私に告げられたとおりになると、私は神によって信じています。

27:26 私たちは必ず、どこかの島に打ち上げられます。」

主日礼拝毎週日曜日 午前10時～11時
聖書研究・祈祷会 每週水曜日 午後6時15分～7時15分

牧師 鈴木 竜実
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◆◆◆2018年7月15日(第三主日礼拝)午後6時~7時
司会 鈴木 竜実 牧師 奏楽 佐野 みゆきさん

◎礼拝プログラム

【前奏始祈】

- 【賛美 I】 新聖歌258「墨よりも黒き心なれど」 p. 402
【交説文】 No.5 詩篇第19篇 p. 882
【賛美 II】 新聖歌259「聖いふみは教える」 p. 259
【使徒信条】
【主の祈り】
【先週説教】
【賛美 III】 オリジナルNo.2 「あなたと共にいつまでも」
【聖書朗読】 ヨハネの福音書14章27節(新約p. 192下段)
【祈祷】
【説教】 《本当の平安とは?》 鈴木 竜実 牧師
【聖餐式】
【賛美 IV】 新聖歌198「God Bless You」 p. 294
【平和祈り】
【頌栄】 新聖歌63「父・御子・御靈の」 p. 85
【祝祷後奏】

【聖書箇所】※ヨハネの福音書14章27節

「私は、あなたがたに平安を残します。私は、あなたがたに私の平安を与えます。私があなたがたに与えるのは、世が与えるのとは違います。あなたがたは心を騒がしてはなりません。恐れではなりません。」

●ポイント1 約束されたことによって

※ヨハネの福音書14章18節「主イエス様の約束から」 (新約p.192上段)

14:18 「私は、あなたがたを捨てて孤児にはしません。私は、あなたがたのところに戻って来るのです。」

※ヘブル人の手紙6章13節～17節「誓いによる保証」(新約p.394下段)

6:13 神は、アブラハムに約束されるとき、ご自分よりすぐれたものをさして誓うことがありえないため、ご自分をさして誓い、

6:14 こう言われました。「私は必ずあなたを祝福し、あなたを大いにふやす。」

6:15 こうして、アブラハムは、忍耐の末に、約束のものを得ました。

6:16 確かに、人間は自分よりすぐれた者をさして誓います。そして、確証のための誓いというものは、人間のすべての反論をやめさせます。

6:17 そこで、神は約束の相続者たちに、ご計画の変わらないことをさらにはつきり示そうと思い、誓いをもって保証されたのです。

●ポイント2 共についてくださることによって

※マタイの福音書28章18節～20節「再びガリラヤにて」(新約p.57下段)

28:18 イエスは近づいて来て、彼らにこう言わされた。「私には天においても、地においても、いっさいの権威が与えられています。

28:19 それゆえ、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子としなさい。そして、父、子、聖霊の御名によってバプテスマを授け、

28:20 また、私があなたがたに命じておいたすべてのことを守るように、彼らを教えなさい。見よ。私は、世の終わりまで、いつも、あなたがたと共にいます。」

●ポイント3 愛してくださいことによって

※イザヤ書43章1節～5節前半「神の愛のメッセージ」(旧約p.1095下段)

※第一ヨハネ4章9節～10節「主の愛された弟子の証言」(新約p.430下)

4:9 神はそのひとり子を世に遣わし、その方によって私たちに、いのちを得させてくださいました。ここに、神の愛が私たちに示されたのです。

4:10 私たちが神を愛したのではなく、神が私たちを愛し、私たちの罪のために、なだめの供え物としての御子を遣わされました。ここに愛があるのです。

◎先週のメッセージの概要【ヨシュアとカレブの告白】

《神様はモーセに命じて、カナンの地に十二部族のリーダーとなる屈強なる戦士の若者を偵察に差し向けています。その十二人の中に、エフライム部族ヌンの子ホセアとユダ部族エフネの子カレブがいました。モーセは、この時ホセア(救い)にヨシュア(主は救い)と言う名を与え、偵察隊リーダーに任命します。

さて、彼らは四十日、神様が約束されたカナンの地を巡り歩いて来ます。モーセとアロンに、十部族の十人の者たちは、悪く報告します。特にアナク人、ネフィリム人と言う巨人の存在が彼らを怖じ気づかせたからです。

全会衆はこのことを聞いて、モーセとアロンにつぶやきます。「私たちはエジプトで死んでいたらよかったです。できれば、この荒野で死んだほうがましだ。」

この告白の通りに、彼らは、四十年間に全員荒野で死ぬことになります。

その時、ヨシュアとカレブはイスラエルの全会衆に告白します。

「私たちが巡り歩いて探った地は、素晴らしい地だった。もし私たちが主の御心にかなえば、私たちをあの地に導き入れ、それを下さるだろう。ただ主にそむいてはならない。恐れではならない。主が私たちと共におられるのだ。」

ここにヨシュアとカレブの主に対する信仰をはっきりと見ることになります。それは彼らの告白がそれを証明しているのです。

イエス様は、大切な真理をこのように教えられました。

「良い人は、その心の良い倉から良い物を出し、悪い人は、悪い倉から悪い物を出します。なぜなら人の口は、心に満ちているものを話すからです。」

つまり良い人も、悪い人も、良い倉と悪い倉の両方を持っているのです。なぜなら皆、罪人だからです。良い人であっても、悪い倉から悪い言葉を取り出すことを選べるのです。またその反対も有り得るのです。心に何が満ちているのかが問題です。結局、私たちが何を信じているのかが問われることになります。ヨシュアとカレブは、本当に神様を信じ信頼していたのです。

私たちクリスチヤンも、日々何を告白するのかが問われています。つまり何を信じているのか、誰を信じているのかが問われているのです。よって私たちは、み言葉と主イエス様への信仰を土台とした、告白をすべきなのです。》

◎お知らせ

1.次回礼拝は、7月22日(日)午前10時から、祈祷会は7月25日(水)午後6時15分です。なお今週7月18日(水)の祈祷会はお休みします。

